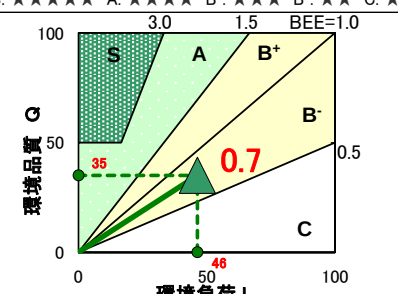
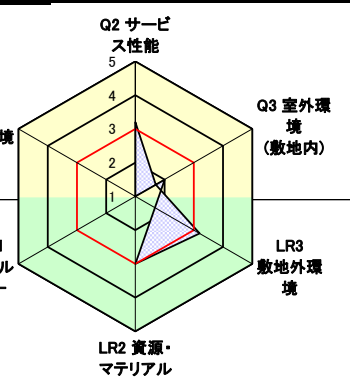
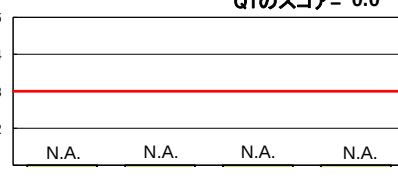
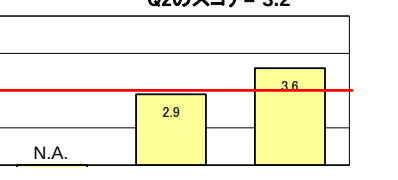
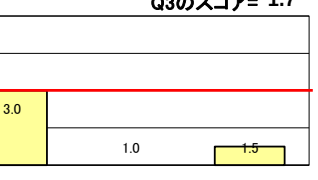
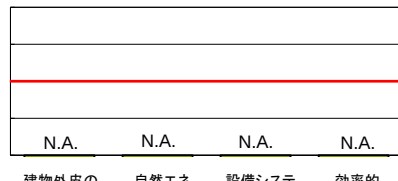
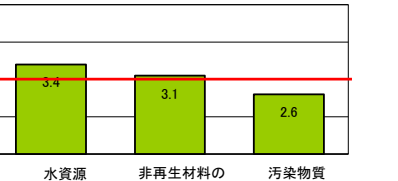
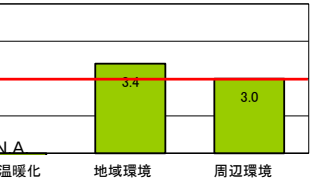


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横浜機材センター 新築工事	階数	1
建設地	神奈川県横浜市中区三保町2001番1、小山町字半蔵田14番1、新沼町字長町4番3	構造	S造
用途地域	準防火地域・市街化区域	平均居住人員	未定 人
地域区分	6地域	年間使用時間	未定 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2024年9月18日
敷地面積	7,628 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社
建築面積	6,752 m ²	確認日	2024年9月28日
延床面積	6,752 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.7 ★ ★ ★ ★ ★ S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 	標準計算 ① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外の ④ 上記+  このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)			
Q 環境品質 Q のスコア = 2.4			
Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0 	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.7 	
LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.1			
LR1 エネルギー LR1のスコア = 0.0 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2 	

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
0	0	
Q1 室内環境 評価対象外	Q2 サービス性能 外壁材、内装材は耐用年数の長いものを採用	Q3 室外環境(敷地内) 特に無し
LR1 エネルギー 省エネ計算無し	LR2 資源・マテリアル リサイクル材の積極的な採用など省資源を図っている。	LR3 敷地外環境 車の乗り入れが多くなる建物のため、交通負荷抑制に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)横浜機材センター 新築
工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

2

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量

-

%削減

※省エネ計算対象設備なし



一次エネルギー消費量基準

適合

外皮基準

対象外

受付日

2024年9月20日

■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【快適・働きやすさ】

2

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防 災】

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

耐用年数: 床20年

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

1

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入

CASBEE横浜2022年版v.1.2
(仮称)横浜機材センター 新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	<非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.2
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能								
2 界壁遮音性能								
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1 室温	快適・働きやすさ ⑨温熱環境							
2 外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能							
3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ ⑨温熱環境							
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ ⑨温熱環境							
2.3 空調方式	快適・働きやすさ ⑨温熱環境							
3 光・視環境								
3.1 屋光利用								
1 屋光率	快適・働きやすさ ⑩光環境							
2 方位別開口	快適・働きやすさ ⑩光環境							
3 屋光利用設備	快適・働きやすさ ⑩光環境							
3.2 グレア対策								
1 屋光制御	快適・働きやすさ ⑩光環境							
3.3 照度	快適・働きやすさ ⑩光環境							
3.4 照明制御	快適・働きやすさ ⑩光環境							
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ ⑪空気質環境							
4.2 換気								
1 換気量	快適・働きやすさ ⑪空気質環境							
2 自然換気性能	快適・働きやすさ ⑪空気質環境							
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ ⑪空気質環境							
4.3 運用管理								
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ ⑪空気質環境							
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ ⑪空気質環境							
Q2 サービス性能			0.43					3.2
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ								
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ ⑫機能性							
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ ⑫機能性							
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ ⑫機能性							
1.2 心理性・快適性								
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ ⑫機能性							
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ ⑫機能性							
3 内装計画	快適・働きやすさ ⑫機能性					1.0		
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ ⑫機能性							
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ ⑫機能性							
2 耐用性・信頼性		2.9	0.50					2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性	防 災 ⑮耐震・免震	3.0	0.80					
2 免震・制振性能	防 災 ⑮耐震・免震	3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30					
1 躯体材料の耐用年数	防 災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防 災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防 災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防 災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防 災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔	防 災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20					
2.4 信頼性		2.4	0.20					
1 空調・換気設備	防 災 ⑰信頼性	3.0	0.20					
2 給排水・衛生設備	防 災 ⑰信頼性	3.0	0.20					
3 電気設備	防 災 ⑰信頼性	1.0	0.20					
4 機械・配管支持方法	防 災 ⑰信頼性	3.0	0.20					
5 通信・情報設備	防 災 ⑰信頼性	2.0	0.20					
3 対応性・更新性		3.6	0.50					3.6
3.1 空間のゆとり		5.0	0.30					
1 階高のゆとり		5.0	0.60					
2 空間の形状・自由さ		5.0	0.40					
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30					
3.3 設備の更新性		3.0	0.40					
1 空調配管の更新性		3.0	0.20					
2 給排水管の更新性		3.0	0.20					
3 電気配線の更新性		3.0	0.10					
4 通信配線の更新性		3.0	0.10					
5 設備機器の更新性		3.0	0.20					



CASBEE横浜2022年版v.1.2

(仮称)横浜機材センター 新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート			実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目			<非住宅> <集合住宅>		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.57	-	-	-	1.4	
1 生物環境の保全と創出			地域・まちづくり		⑩生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮			地域・まちづくり		⑨まちなみ・景観への配慮	1.0	0.40	-	-	1.0	
3 地域性・アメニティへの配慮						1.5	0.30	-	-	1.5	
3.1 地域性への配慮・快適性の向上			地域・まちづくり		⑩地域性への配慮	1.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			快適・働きやすさ		⑭敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	-	3.1	
LR1 エネルギー					-	-	-	-	-	-	
1 建物外皮の熱負荷抑制			省エネルギー性能		①建物の熱負荷抑制	-	-	-	-	-	
2 自然エネルギー利用			省エネルギー性能		②自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	
3 設備システムの高効率化			省エネルギー性能		③設備システムの高効率化	-	-	-	-	-	
4 効率的運用						-	-	-	-	-	
集合住宅以外の評価						-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング			省エネルギー性能		④効率的運用	-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			省エネルギー性能		④効率的運用	-	-	-	-	-	
集合住宅の評価						-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング			省エネルギー性能		④効率的運用	-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			省エネルギー性能		④効率的運用	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.50	-	-	-	3.0	
1 水資源保護					3.4	0.20	-	-	-	3.4	
1.1 節水					4.0	0.40	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.70	-	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.30	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					3.1	0.60	-	-	-	3.1	
2.1 材料使用量の削減					2.0	0.10	-	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.20	-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					3.0	0.20	-	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					3.0	0.20	-	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材					3.0	0.10	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					4.0	0.20	-	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					2.6	0.20	-	-	-	2.6	
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30	-	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					2.5	0.70	-	-	-	-	
1 消火剤					-	-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)					2.0	0.50	-	-	-	-	
3 冷媒					3.0	0.50	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.50	-	-	-	3.2	
1 地球温暖化への配慮					-	-	-	-	-	-	
2 地域環境への配慮					3.4	0.50	-	-	-	3.4	
2.1 大気汚染防止					5.0	0.25	-	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善					3.0	0.50	-	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					2.7	0.25	-	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減					3.0	0.25	-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-	-	
3 交通負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制					2.0	0.25	-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮					3.0	0.50	-	-	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	-	-	
1 騒音					3.0	1.00	-	-	-	-	
2 振動					-	-	-	-	-	-	
3 悪臭					-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制					3.0	0.40	-	-	-	-	
1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	-	-	
2 砂塵の抑制					1.0	-	-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制					3.0	0.30	-	-	-	-	
3.3 光害の抑制					3.0	0.20	-	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					3.0	0.70	-	-	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30	-	-	-	-	

上記以外の重点項目					-	-	-	-	-
<事務用途>					-	-	-	-	-
知的生産性向上への取組			快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-
<住宅用途>					-	-	-	-	-
健康と安心					-	-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策			健康・安心	⑭健康対策	-	-	-	-	-
2 適切な換気計画			健康・安心	⑭健康対策	-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策			健康・安心	⑭健康対策	-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)			健康・安心	⑮防犯対策	-	-	-	-	-